

本部長指示事項

○本日、県は、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、「BA5対策強化宣言」を発出いたしました。県全体で連日1万人前後の新規感染者が発生しており、即応病床使用率も70%を超えるなどの感染急拡大の局面を受け、行動制限はありませんが、あらためて県民の皆様へ基本的感染対策の徹底や、救急車の適正利用、事業者の皆様へテレワークの活用の推進など、社会経済活動の維持と医療のひっ迫の回避の両立を図るための協力要請を行いました。

○本市においても、本日8月4日の新規感染者の発表者数が2,251人と過去最多となったほか、入院者数についても312人と過去最多で、感染拡大傾向が継続しています。

救急車の出動状況も、新型コロナや熱中症などの影響で、先月中旬から急増しており、7月25日の週の搬送困難事案については262件で、第6波のピークであった222件（2月14日～20日）を超え、過去最多となっています。

市民の皆様には、引き続き感染症予防や熱中症対策の徹底と併せて、救急車を呼ぼうか迷った場合には、救急受診ガイド（消防局HPへ収載）を活用するなど、救急車の適正利用についてご協力をお願いします。

※搬送困難事案・・・医療機関受入照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上の事案

○一方、8月2日に日本感染症学会など4学会が、「症状が軽い場合は、65歳未満で基礎疾患や妊娠がなければ、あわてて検査や受診をする必要がない」という声明を出しています。本市の第7波で分析できた60歳未満の約100人のデータによると、発症初日に38℃以上の発熱がある感染者は約40%ですが、発症4日後には数%となっており、5日後には、ほとんどの患者さんが解熱していました。コロナ発症による急な発熱等に備えるため、解熱鎮痛剤等の市販薬や療養期間中の食事を事前にご用意いただくと安心ですので、ご検討下さい。

65歳以上の方、基礎疾患のある方、妊婦の方など重症化リスクの高い方は、発熱などの症状がある場合は、早めにかかりつけ医にご相談いただくか、市ホームページで公開している発熱外来を受診してください。症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方は、発熱外来の受診に代えて「千葉県新型コロナウイルス感染症検査キット配布・陽性者登録センター」や、本市の無料PCR検査事業の利用をご検討ください。その場合でも解熱鎮痛剤を服用しても4日以上37.5℃以上の発熱が続く場合などは発熱外来の受診をご検討ください。

○各担当部署においては、これから申し上げる対応をお願いします。

・高齢・障害者施設等についても、従事者や入所者の感染は7月以降急増しており、クラスターも複数の施設で発生しているところです。

重症化しやすい高齢者・障害者を守るため、8月から月4回に拡充した、従事者等のPCR検査・抗原検査の頻回検査を着実に実施し、早期発見や感染拡大防止に努めてください。

・また、新型コロナウイルスの感染急拡大の状況にあっても、安定的な市民生活と経済活動を維持する

ため、感染防止対策の重要性とその徹底について、市内の事業者やイベント主催者の皆様に改めて周知するようお願いします。

・千葉市職員の感染状況についてですが、7月の第3週は187人、第4週は173人とこれまでで最も多い状況です。職場内や懇親会等での感染を生じさせないように、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

○コロナワクチンの4回目接種については、国は、重症化リスクの高い高齢者等に加え、医療機関や高齢者施設等において従事者を通じたクラスターが生じることにより、医療提供体制への影響が懸念されることから、重症化リスクが高い、多くの方に対してサービスを提供する医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者を新たに接種対象者としたところです。

市内でも、既に、医療機関や高齢者施設等でのクラスターが発生していることから、これらの従事者が、速やかにワクチンの接種ができるよう周知・徹底を図るとともに、早期に、高齢者施設等における入所者に対する接種が開始できるよう、医療機関等とのマッチングなど、きめ細かな支援をお願いします。

また、3回目接種については、高齢者に比べ、若者・現役世代の接種率が低くなっていることから、引き続き、平日夜間や土日祝日の開設に加え、予約なし接種や団体接種など接種しやすい環境を整えるほか、集団接種会場は、お盆期間も開設しているので、更なる周知・啓発に努め、接種を加速化させるようお願いします。

○これから、お盆を迎え帰省シーズンとなります。高齢者や基礎疾患のある方と会う場合は、マスクの着用や換気を怠らない等、感染リスクを減らす対策を取るよう十分に心がけてください。

これまでも申し上げておりますとおり、これからの感染対策は、行動制限という手段ではなく、市民お一人お一人が、「感染しない、感染させない」という場面、場面での対策が重要であると考えます。

今一度、不織布マスクの着用、手洗い・消毒、密を避ける等、基本的な感染防止対策と、日常から体温測定などの健康管理の徹底をお願いいたします。